

政策体系	基本目標名	01	魅力ある産業で賑わう活力あるまちづくり	施策主管課長	企業誘致課
	政策名	01	企業誘致を促進し産業振興で活力あるまちづくり		
	施策名	03	出流原PA周辺開発の推進		
施策関係課	政策調整課、産業政策課、農政課、都市計画課、交通政策課			田村 弘行	

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標				単位	R4	R5	R6	R7	成果指標設定の考え方	①開発面積を把握することにより、開発整備構想の実現への状態が把握できることから指標として採用した。 ②出流原PA周辺総合物流開発整備構想実現に必要なスマートインターチェンジが事業化されたことから整備の進捗率を指標として採用した。 ③佐野インランドポートの稼働状況を勘案し、出流原PA周辺総合物流開発整備区域への拡張も検討していくことから指標として採用した。 ④国際的な防災拠点の創生に向けた今後の方向性等を検討し、今後の方針を策定することから指標として採用した。	
	出流原PA周辺区域	①	出流原PA周辺総合物流開発整備構想Aゾーン面	ha	14.1	-	-	-					
施策の目的「意図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか ・(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの設置及びインランドポートを核とした総合物流拠点の整備を推進する。 ・本市の恵まれた高速交通網を活用した国際的な防災拠点の創生に向け、今後の企業誘致等の方向性を検討し方針を策定する。	成果指標(意図の達成度を表す指標)		区分	単位	R4	R5	R6	R7	成果指標の取得方法			①企業誘致課資料 ②交通政策課資料 ③産業政策課資料 ④政策調整課資料
		①	開発整備着手面積(第1段階)	目標	ha	10.6	10.6	10.6	-				
		②	(仮称)出流原PAスマートインターチェンジ整備の進捗率	目標	%	100	-	-	-				
		③	佐野インランドポートの年間取扱貨物量	目標	TEU	8,500	8,700	8,800	8,900				
④	防災拠点の方針策定	目標	件	1	-	-	-						

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7	基本事業名	対象	意図	成果指標	区分	単位	R4	R5	R6	R7		
出流原PA周辺総合物流開発整備の推進	①出流原PA周辺地域	①インランドポートを核とした総合物流拠点・防災拠点として開発する。	①	開発整備事業(Aゾーン)の進捗率	目標	%	30	60	100	-	(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの整備	①出流原PA周辺地域	①出流原PAにスマートインターチェンジを整備する。	①	出流原スマートIC整備の進捗率	目標	%	100	-	-	-
			②	方針の策定	実績	件	0	-	-	-				実績	100	-	-	-			
			③	佐野IPの年間取扱貨物量	目標	TEU	8,500	8,700	8,800	8,900				目標							
			④	佐野IP拡張の検討	実績	箇所	0	-	-	-				実績							
			①		目標							①		目標							
			②		目標							②		目標							
			③		目標							③		目標							
			④		目標							④		目標							

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策	令和4年度施策の取組方針		施策の取組方針・成果指標達成状況					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>出流原PA周辺総合物流開発整備Aゾーン区域内の用地取得を進める。また、国際的な防災拠点の創設に向けた今後の方向性及び防災関連企業等の誘致など、方針の策定に向けた検討を行う。</li> <li>佐野インランドポートの安定運営を推進するとともに、施設の拡張に向けた検討の準備を行う。</li> <li>(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの整備を完了し、供用を開始する。</li> </ul>		<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成  <input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成  【施策の取組方針達成状況】 ・Aゾーン整備に関しては、市の買収価格と地権者の売却希望額に大きな乖離があるほか、一部地権者から民間事業者による開発整備を模索する動きがあることなどから、事業はストップしている。 ・Aゾーンの方向性に基づき、インランドポートの拡張やインランドポートを核とした物流拠点整備の実現性について担当者での協議を行った。 ・スマートIC整備に関しては、ネクスコ東日本と連携し事業の推進を図り、令和4年とちぎ国体前に整備を完了し、同年9月19日に供用を開始した。 【成果指標達成状況】 ・年間取扱貨物量は、インランドポート施設の周知や物流効率化への先進的取組の調査・研究、並びに利用者の確保へ向けた各種ポートセールスを指定管理者と連携し実施してきたことにより目標値を上回ったが、コロナの影響もあり、令和3年度より若干の減少となった。インランドポートの収支についても黒字経営を続けており、昨年を上回る施設納付金が期待できる。 ・国際防災拠点に関しては国や県の動向等の情報収集に加え、内閣府国土強靱化室との意見交換を行ったが、方針の決定には至らなかった。					
基本事業	基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況		基本事業名	令和4年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
	出流原PA周辺総合物流開発整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>出流原PA周辺総合物流開発整備Aゾーンにおける用地買収並びに、土地利用の事前協議や地区計画等の諸手続きを速やかに行い、事業の計画スケジュールに即した事業の進捗を図る。</li> <li>国際的な防災拠点の創生に向けた今後の方向性及び防災関連企業等の誘致を検討し、方針を策定する。</li> <li>佐野インランドポートの安定運営を図るため、コンテナ取扱量の確保を図るとともに施設の拡張に向けた準備を整える。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・Aゾーン整備については市の買収価格と地権者の売却希望額に大きな乖離があるほか、一部地権者から民間事業者による開発整備を模索する動きがあることなどから、事業はストップしている。 ・国際防災拠点に関しては方針の決定には至らなかった。 【成果指標達成状況】 ・Aゾーンの方向性に基づき、インランドポートの拡張やインランドポートを核とした物流拠点整備の実現性について担当者での協議を行った。 ・年間取扱貨物量は、目標値を上回っている。	(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネクスコ東日本と連携をとり、(仮称)出流原PAスマートIC整備工事の円滑な進捗を図り、上半期中に供用を開始する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 全て達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・ネクスコ東日本と連携し事業の推進を図り、令和4年とちぎ国体前に整備を完了し、同年9月19日に供用を開始した。 【成果指標達成状況】 ・スマートインターチェンジについてはネクスコ東日本と連携し、予定期間内で工事を完了し、供用を開始した		
			<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・ネクスコ東日本と連携し事業の推進を図り、令和4年とちぎ国体前に整備を完了し、同年9月19日に供用を開始した。 【成果指標達成状況】 ・スマートインターチェンジについてはネクスコ東日本と連携し、予定期間内で工事を完了し、供用を開始した				<input type="checkbox"/> 全て達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 全て未達成 【基本事業の取組方針達成状況】 ・ネクスコ東日本と連携し事業の推進を図り、令和4年とちぎ国体前に整備を完了し、同年9月19日に供用を開始した。 【成果指標達成状況】 ・スマートインターチェンジについてはネクスコ東日本と連携し、予定期間内で工事を完了し、供用を開始した	

4. 施策の基本情報

施策の基本情報	社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルスの影響等も薄まり、景気は上昇する傾向にあるものの、短期的な将来ですら予測が困難な状況となっている。また、少子高齢化が進み生産労働人口の減少に伴い経済的局勢が厳しさを増していくことが予想される中、本市の稼ぐ力を具現化する施策の推進が求められている。</li> <li>栃木県においても、補助金や融資などによる企業立地支援を行うほか、企業局や土地開発公社による産業団地造成(鹿沼市、下野市他)が行われている。</li> <li>市議会からも、財政基盤強化のため、産業団地造成による企業誘致を図るよう意見が出されている。また、出流原PA周辺総合物流開発整備事業の早期実現を望む意見がある。</li> <li>近隣市町においても、企業誘致の競争が激化している。</li> <li>南海トラフなどの大規模地震の発生が予想される中、市民の防災意識の高まりを見せている。</li> </ul>	市民	事業所	行政
		<ul style="list-style-type: none"> <li>出流原PA周辺総合物流開発整備事業の推進に協力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出流原PA周辺総合物流開発整備事業に参画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出流原PA周辺総合物流開発整備を実現することにより、あらたな雇用の創出と経済の進展による地域の振興を図る。</li> </ul>

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>「出流原PA周辺総合物流開発整備の推進」に関しては、Aゾーン整備については、用地の取得が叶わなことから、事業がストップしている。一部地権者の中で民間事業者による開発整備を模索する動きもある。事実、Aゾーン整備に関しては複数の民間事業者から整備に向けての問合せがなされている様子である。また、国際防災拠点の創出については、国・県の動向に関する情報収集や内閣府国土強靱化室とのやり取りを行ったが方針は決まっていない。</li> <li>「(仮称)出流原PAスマートインターチェンジの整備」については、予定通り国体前の9月中に整備が完了し、令和4年9月19日に供用開始となっている。</li> <li>年間取扱貨物量は、インランドポート施設の周知や物流効率化への先進的取組の調査・研究、並びに利用者の確保へ向けた各種ポートセールスを指定管理者と連携し実施してきたことにより目標値を上回ったが、コロナの影響もあり、令和3年度より若干の減少となった。インランドポートの収支についても黒字経営を続けており、昨年を上回る施設納付金が期待できる。</li> <li>Aゾーンの方向性に基づき、インランドポートの拡張やインランドポートを核とした物流拠点整備の実現性について担当者での協議を行った。</li> <li>令和4年度決算額は128,238千円であったのに対して令和3年度決算額は460,371千円であった。差し引き332,133千円の減であり、その理由としてはスマートインターチェンジ整備が年度内に完了したことにより事業費が大幅に削減となったものである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【令和5年度で解決する課題】</li> <li>Aゾーンの整備に関しては、現状を踏まえ具体的な整備の方向性を決定するとともに、構想に掲げるB~Fゾーンについても、整備にあたっての方向性の決定</li> <li>国際防災拠点の創出については、専門的な知見を取り入れながら整備方針の取りまとめ</li> <li>佐野インランドポートの事業計画に即した海上コンテナ取扱量の確保及び安定した施設運営</li> <li>【令和6年度以降にも引き継がれる課題】</li> <li>①基本構想の区域内における開発整備に関しては、整備の方向性に即した対応</li> <li>②策定した方針を基に国際的な防災拠点創出に向けた検討</li> <li>③佐野インランドポートの安定した施設運営と今後の施設運用の方向性の検討</li> <li>④ネクスコ東日本と連携したスマートICの利用促進</li> <li>【令和6年度重点課題】</li> <li>⑤基本構想の区域内における開発整備に関して、方向性に即した具体的な施策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①⑤基本構想における区域における整備の方向性と具体的な施策を検討する。</li> <li>②令和5年度予算に国際防災拠点整備方針検討事業を計上し、専門的な知見を取り入れながら方針をまとめていく。</li> <li>③指定管理者と連携したポートセールスの実施、及びインランドポートのコンテナを活用した商品・製品の海外輸出の掘り起こし</li> <li>④ネクスコ東日本と連携を図り、出流原スマートインターチェンジ地区協議会を適宜開催し、利用の促進を図る。</li> </ul>